

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第2区分

【発行日】平成19年1月11日(2007.1.11)

【公開番号】特開2000-210735(P2000-210735A)

【公開日】平成12年8月2日(2000.8.2)

【出願番号】特願平11-324810

【国際特許分類】

<b>B 2 1 D</b>	<b>37/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 0 1 L</b>	<b>1/14</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 0 1 L</b>	<b>1/16</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 0 1 L</b>	<b>1/22</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 0 1 L</b>	<b>1/24</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 0 1 L</b>	<b>5/00</b>	<b>(2006.01)</b>

【F I】

B 2 1 D	37/00	Z
G 0 1 L	1/14	A
G 0 1 L	1/16	
G 0 1 L	1/22	Z
G 0 1 L	1/24	A
G 0 1 L	5/00	1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月16日(2006.11.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

金型キャビティ(28)および加工品(40)に対して移動可能な金型クロージャ(30)を含む圧縮成形用金型(26)と、該金型内に配置される加工品とのタッチを感知する装置(10)において、

前記金型クロージャと前記加工品とのタッチを知らせるよう配置できる少なくとも1個の順応性シート材(18)と、

前記加工品(40)の表面上の複数の異なる点での前記金型クロージャと前記加工品とのタッチを知らせるよう配置され、前記金型クロージャが前記加工品の部分に接触したときそれを示す信号を発生する複数のタッチセンサパッド(14)を含む、少なくとも1個のタッチセンサ(12)と、を備え、

前記信号に基づき前記金型クロージャの移動を制御して前記金型クロージャ(30)をその位置で前記加工品(40)に接触させておく、タッチ感知装置。

【請求項2】

金型キャビティ(28)および加工品(40)に対して移動可能な金型クロージャ(30)を含む圧縮成形用金型(26)と、該金型内に配置される加工品とのタッチを感知する方法において、

少なくとも1個のタッチセンサパッド(14)を含む少なくとも1個の順応性シート材(18)を、前記金型クロージャと前記加工品とのタッチを知らせるよう配置し、

前記金型クロージャと前記加工品とのタッチを示す信号を発生し、

前記加工品(40)から前記圧縮成形用金型(26)から取り除き、

前記順応性シート材(18)を前記加工品(40)から分離する、  
ことを含むタッチ感知方法。